

貸館施設

令和6年1月から貸館利用を開始予定です。予約は公共施設予約システムで11月から受け付けます。料金など詳しくは、広報もりやま10月1日号でお知らせします。

貸館施設		時間	平日	休日（年末年始を除く）
1階	多目的ホール		午後6時～9時	午前9時～午後9時
2階	防災会議室		—	
	会議室		—	

多目的ホールは、貸館利用がない日は午前8時30分から午後9時まで開放しています。

問い合わせ：総務課 TEL・有線：582-1111 FAX：582-0539

建築経緯

旧庁舎は、昭和40年に守山町（当時）の「守山総合ビル」として建設されました。旧庁舎は耐震基準を満たしておらず、早急に耐震安全性を確保する必要がありました。また、行政機能の分散、建物の老朽化、待合スペース・相談室の不足、バリアフリー化の不足など、来庁者への対応が不十分な状況でした。

このような課題を抱えるなか、東日本大震災などにおける被災地の庁舎の被害状況・庁舎被害の発生による復興の遅れなどを踏まえ、庁舎の耐震性確保について、検討を重ねてきました。国の市町村役場機能緊急保全事業（耐震化が未実施の庁舎の建て替えを支援する財政支援措置）の期日などを踏まえ、平成29年9月には、市議会より、現庁舎敷地での早期整備を求める提言が取りまとめられました。この提言を受け、市民の皆さまへの意見聴取、庁舎整備計画策定アドバイザー会議での検討、市議会でのさらなる議論などを経て、平成31年3月に現庁舎敷地において新庁舎を建設することを決定しました。

「わ」で輝く 全ての市民にやさしい 安全・安心な庁舎を基本理念とし、災害対策本部機能および福祉窓口・執務機能の集約と、5つの基本方針を定めた基本計画を基に、令和2年6月に基本設計を取りまとめました。

工事は、実施設計を含めた発注方式「DB（デザインビルド）方式」を採用し、施工者が持つノウハウを実施設計内容に反映できるようにしました。運用面では、ICT技術を積極的に取り入れ、業務の効率化を図り、市民サービスの向上の実現を目指しました。

規模

敷地面積：約17,400㎡
 延床面積：約12,990㎡^{ひさし}（庇除く）
 階数：地上4階
 最高高さ：23.5m

構造

鉄骨造（一部耐震壁にCLTを採用）

事業費

ハード：約66億円
 （DB事業費 約62億円）
 ソフト：約13億円
 合計：約79億円

補助金など

市町村役場機能緊急保全事業債
 緊急防災減災事業債
 都市構造再編集中央支援事業補助金
 サステナブル建築物等先導事業補助金
 びわこ材利用促進事業補助金
 デジタル田園都市国家構想交付金

基本設計・監理・監修

限・安井設計共同企業体
 代表構成員 株式会社 限研吾建築都市設計事務所
 構成員 株式会社 安井建築設計事務所

実施設計・施工

株式会社 竹中工務店 京都支店

期間

基本設計期間 令和元年8月～令和2年6月
 実施設計期間 令和3年3月～令和3年12月
 本体工事期間 令和4年1月～令和5年5月

新庁舎整備についての問い合わせ：庁舎整備推進室 TEL：584-5926 FAX：582-0539